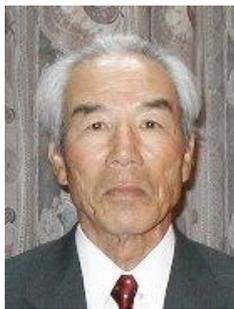


お元気ですか

三菱樹脂OB会だより第十七号

鳥居会長年頭ご挨拶



明けましておめでとうございませう。皆様におかれましては、ご家族ともども良いお年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。旧年中は、大変ご支援、ご協力を賜り、ありがとうございました。原油価格をはじめ生活必需品の値上がりや、サブプライム問題などに伴う世界経済の減速が懸念されますが、持続可能な社会に向かうよう願っています。

さて、当OB会は、六三〇名余の会員が増え、ますます会員相互の横のネットワークが充実され、喜ばしい次第でございます。ところで、今年四月には、三菱ケミカルホールディングスの再編に伴い、三菱樹脂は、三菱化学ポリエステルフィルム、三菱化学産資、三菱化学MKVを統合した新三菱樹脂になる予定でございます。昨年七月、謡曲の友人の紹介で、三菱化学OB会の芝田会長にお目

にかかり、三菱樹脂OB会の活動状況を説明しましたところ、その活発な活動に賞賛を受けました。OB会は会員の親睦を深める活動ですので、新三菱樹脂になりましても、しばらくは今ままでおり運営してまいりたいと思います。今年も五月二十三日(金)長浜工場での総会のほか、スポーツ、歩こう会、作品展、懇親会など活発に活動できるように運営してまいりますので、ご支援、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。皆様のますますのご健康とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とします。

支部総会・懇親会

大阪支部定期総会
平成十九年十一月二十二日(木)
新阪急ホテル「オリンピック」
参加者二十二名 雨森作仁、宇塚正、岡本益弘、奥田公員、押切繁、加藤龍雄、熊倉寛、小森喜成、内藤次生、西本郁夫、能瀬庄一、平井穰、福井久、松本弘、南博子、宮本二四彦、山口滋、山本功、吉田康子、(ゲスト)小篠支社長、近藤総務部長、神代真美子
山口支部長より開会挨拶、行



事・会計報告および欠席者の近況コメントが披露された。雨森さんの発声で乾杯。宮本さんの近況報告、次いで小篠支社長よりグループ再編に関する説明等会社の近況を伺った。

時の過ぎ行くままに賑やかな宴が続くこと三時間。再会を約して、それぞれ二次会へと散っていった。(文責は、以降すべて宮下和久)

名古屋支部懇親会
平成十九年十一月十日(土)
東天紅
参加者十二名 赤江孝之、池田浩司、伊藤壽、杉原謹吾、竹内薫範、中島次郎、野村宗男、速水幹男、松浦文雄、円山晋薫、宮内勉、



井上薫中部支社長(ゲスト)

伊藤支部長の音頭で乾杯。井上支社長から、新たな再編発展へ向かう三菱樹脂の近況を聞かせていただきました。そのあとは、ざっくばらんに懇談。一人ずつ最近の話題や活躍ぶりを織り交ぜての近況報告。

能弁の人は賑々しくしゃべり、それにつられて訥弁の人もよく話します。次の行事には、今回体調が悪かったりで欠席の人も参加できると願いながら散会しました。

九州支部秋季懇親会

平成十九年九月十七、十八日
参加者二十名 岩野利生、川野秀正、川山功治、佐古田英男、下山修一、原田幸裕、和藤隆英、石原支社長、ゴルフ相馬義一、桑村卓正、菊浪義信、入江勝彦、甲斐國紘、安部敏朗、柴田弘視、柴田壽一、観光・上野禮一、井上雅史、久富良司、田中一英



九月十七日、佐賀県川上峡温泉「龍登園」で、九州支部秋季懇親会が開催されました。

懇親会に先立ち、石原九州支社長から、MPIの経営状況、三菱ケミカルホールディングスとの関係等について、詳細なご説明をいただきました。

川野さんの乾杯の音頭ではじまった宴会は、若かりし日に戻り、近況報告や健康話で盛り上がり、三時間近く続きました。

翌日十八日は、朝食後、解散となり、ゴルフ組に八名、観光組に四名が参加されました。

ゴルフ組は、炎天下の中、水分を補給しながらのゴルフでしたが、優勝は桑村さん、準優勝は柴田(弘)さんで、ベスグロは、八五の安部さんでした。観光組は、「吉野ヶ里歴史公園」、「佐賀城歴史資料館」に向かい、とくに、佐賀城では、幕末の佐賀藩の活躍を再認識する充実した見学でした。

本年度OB会総会予告

平成二十年五月二十三日(金)
場所 長浜工場
詳細は後日ご連絡します。

歩こう会

本部第五十五回歩こう会
つくばサイエンスツアー

平成十九年九月八日(土)

筑波宇宙センターほか

参加者三十名 市村義雄、伊藤敬輔、石川晃司、石塚和男、大庭忠利、加藤進、鹿島静哉、風間元臣、木沢英雄、木原仁博、坂本堅一、佐藤勇、塩澤敏行、塩澤知恵子、谷口勝利、鳥居正義、豊田安鴻、中川実信、野中矩仁、原田浩次、橋田理、平松久、藤原志朗、松林義明、松内俊夫、宮下和久、山本猛、山谷彰浩、石橋正康、柘植茂
新線つくば駅に十一時四十五分に集合。今回は多くの研究機関を巡る「つくばサイエンスバス」を利用して、人気の三箇所の研究機関を選んでの見学である。

最初は筑波宇宙センターを見学。ビデオで概要紹介、バスで展示室、宇宙ステーション試験棟、ロケット音響体験のコースをまわる。

見学後、宇宙センター前の実物のロケット模型の前で記念写真。次は産業技術総合研究所展示館(産総研)まで歩く。産総研は最先端の研究成果を紹介しており、研究開発に関する情報端末や体験コーナーがある。内容は進化する



各種知能ロボットの実演、単結晶成長装置でのルビーの生成実演、内視鏡下鼻内手術のトレーニング装置等で大変興味深かった。

続いて、隣接する地質標本館に入る。最新の地球科学情報とともに日本の地質、海洋地質、地震活動断層などをテーマごとにみる。

見学終了後、つくば駅前での懇親会で頭と足の疲れを癒し、十九時前に本日の予定を無事終了した。

長浜支部第十五回歩こう会
宿場町石部と湖南三山を巡る

平成十九年十月二十二日(月)

参加者二十五名 足立英治、石路正一、磯田智、岩根信次、大西義夫、大村元孝、外海金太郎、梶道信、金澤淳三、北村忠衛、北村柱美、木下勝康、小林一好、小林守、富岡秀雄、中嶋清、西沢芳朗、西島藤夫、野呂忠章、橋本健、広瀬

洋造、武藤實、森川栄壽、安野孝美、世森幹治

草津線石部駅に九時十五分集合。石部宿は、全盛期は二百十六軒の商家、六十二軒の旅籠がならび、大いに栄えた宿場町であった。

最初に厄除け、安産、交通安全の守護神「吉御子(よしみこ)神社」を尋ねる。この神社は、崇徳天皇時代の創建と言われ、本殿は、江戸末期、京都の上加茂神社の旧本殿を移築したものである。

続いて、湖南三山の一つ、国宝「常楽寺」に到着。奈良時代中期に、良弁僧正が元明天皇勅命により建立したと伝えられている。本堂と三重塔は国宝に指定され、ともに室町時代の初期に再建されたもの。正午近くになり、足早に次の目的地「じゅらくの里」へ。ここで自由にお弁当時間。

食事後、数分で湖南三山の二つ目、国宝「長寿寺」、白山神社に到着。この寺院の名物案内人、住職の奥方のユーモアを交えた名調子の説明、法話を受けた。



長寿寺は常楽寺の西寺に対して、東寺と呼ばれ、奈良時代後期、聖武天皇の勅願により良弁僧正が創建した。国宝の本堂は鎌倉時代初期のもの。

この後、道路に飾られた珍しい「勸請縄吊り」と称する集落の結界に、五穀豊穰、疫気祓いなどを願う、しめ縄を見る。

さらに、昔ながらの歴史ある石の鳥居と石の太鼓橋のある「上葦穂(かみかしほ)神社」、最初に訪れた「吉御子神社」と対の関係にある「吉姫神社」を参拝。

最後に、駅近くで有志による懇親、反省会でのどを潤おした。

大阪支部第二十七回樹楽会
鞍馬山・鞍馬寺

平成十九年十月五日(金)

鞍馬山・鞍馬寺

参加者十四名 内藤次生、山口陸雄、熊倉寛、平井穰、南博子、松本夫人、鈴木睦子、押切繁、奥田公具、岡本益弘、古川千佳子、松本弘、吉田康子、福井久

鞍馬越えは五年前、M翁以下六名が貴船から鞍馬駅まで歩いたとのこと。今回は逆の道を辿る。

叡山電鉄「鞍馬」から程なく鞍馬寺山門(仁王門)、ここで記念撮影。本堂・多宝塔までは九十九折という参道を歩くのが常道なのだ、われわれの足は極々自然にケールカラーに向かう。

本堂に参拝、しばし散策。パウースポット、与謝野晶子の庵(東京

から移設)等を見学後、山中へ。

「鞍馬山」は、牛若丸の修行や天狗・鞍馬天狗などで有名だが、太古より大地の力に満ちた霊山で、六百五十年前に「諸法魔王尊」が人類救済の使命を帯びて、金星から天降ったと伝承されている。

以来、毘沙門天(太陽)、千手観世音菩薩(月輪)、魔王尊(大地)の三神が合祀されている。義経にまつわる旧跡や大杉権現堂などを巡り、木の根道を歩きながら、下界の貴船に降り立つ。

貴船神社にお参り。「川床」を貴船川沿いに眺めながら貴船口へ。そして、締めは京都河原町先斗町のとある居酒屋で三時間弱。



ゴルフ同好会

本部第二十八回ゴルフ会

平成十九年十月五日(金)

湘南カントリークラブ

参加者二十名 渡部一蔵、高橋義衛、坂本堅一、菅澤武彦、市村義雄、西林公助、久保秀雄、篠島秀明、平野博之、亀田実、牧原稔、西野盛雄、長崎光男、中野雅明、後藤勤、佐藤勇、白崎勝、中戸川敏雄、長嶺英則、小宮康正

天気も良く絶好のコンディションのもと、二十名の参加で、久し



ぶりの顔合わせ、歓談等、好雰囲気の内、プレイ、懇親会での会話を楽しみながら、無事終了した。成績は、初出場の後藤さんが予想以上に頑張り、優勝を飾り、二位、三位にはローハンデいの久保さん、篠島さんが入り、大健闘だった。次回は、来年五月八日もしくは十五日、湘南カントリークラブを予定している。

長浜支部第二十九回ゴルフ会
平成十九年十月十二日(金)
彦根カントリー倶楽部

参加者二十一名 笹原榮之助、小林一好、柴田弥蔵、藤田稔、加藤勲、野田和久、森川栄壽、西沢芳朗、岩根信次、武田了久、北村征美、柴田清廣、草野康雄、尾本光弘、中村民夫、磯田智、辻彦太郎、品川泰之、井沼稔、鈴木健治、野村勝彦

秋晴れの絶好のコンディションのもと、二十一名の参加を得て、彦根CCで開催された。会長挨拶、初参加者の紹介の後、プレイ開始。七十歳以上のシルバートイの使用を認め、ダブルペリア方式による競技とした。狭いコースとピンの位置に悩まされスコアメイクに苦しんだ。結果はベテランの笹原榮之助氏が優勝を、藤田稔氏がベスグロを獲得し、ベテラン勢の元気が目についた大会であった。大会終了後、社員会館にて懇親会と表彰式を開催、次回の再会を期して散会とした。



上位の成績は次のとおり。
優勝 笹原榮之助
準優勝 草野康雄
第3位 中村民夫
ベスグロ 藤田 稔

大阪支部第十二回ゴルフ会
平成十九年十月十五日(月)
宝塚高原ゴルフクラブ

参加者十二名 菅澤武彦(ゲスト)、雨森作仁、宇塚正、岡本益弘、小森喜成、平井穰、古川千佳子、松本弘、南野彰宏、山口滋、山本功、吉田康子

素晴らしい秋晴れの下、ゲストとして、菅澤前社長を迎えて十二名が集いました。今回は、十一月十七日に結婚式を控えた古川千佳子嬢の結婚祝も兼ねており、七十歳超の某氏は同嬢に花を持たせるため大叩き、プロに就いて猛特訓の吉田さんにも負ける始末。プレイ終了後、十三の居酒屋で



九名で懇親会を開催、その後、なお六名が、北新地に座を移し、心行くまで秋の夜長を楽しみました。当日の結果は次のとおり
優勝 雨森作仁
準優勝 菅澤武彦
第3位 松本 弘

第七回千葉オープンゴルフ会
平成十九年十月十七日(水)

佐倉カントリー倶楽部
参加者九名 北川忠澄、岩田幸三、安田久雄、皆川典夫、石橋正康、酒井正昭、東田浩作、山崎勲、西林公助

当日は、うす曇、気温も二十度と、暑くもなく絶好のコンディションなれど、ドタキャンなどあり、幹事を焦らせた。ゴルフ場は、京成佐倉駅から徒歩十分の丘陵コース。都内や湘南方面からも交通の便よく、四回目でもあるので、アップダウンの多いコースレイアウトも分かっているはずなのに、グリーンまわりで苦労し、高麗グリーンでのショットパットに手こずり、なかなかスコアがまとまらない。ところが、初参加の酒井さんはシヨートホールに強く、パー二箇所あり優勝。東田さんはシヨートホールでパーデイもあり、スコアもまとまり準優勝。ベスグロ賞の安田さんが3位。次回幹事は酒井さんと東田さん。当日の結果は次のとおり

優勝 酒井 正昭
準優勝 東田 浩作
第3位・B G 安田久雄



フォトサークル

フォトサークル2000
第二十回撮影会 秋の裏磐梯
平成十九年十月三十日〜十一月二日

参加者六名 鶴岡英雄、山本猛、廣江昭道、久保秀雄、関守二、永松啓至

フォトサークル2000は、秋の裏磐梯撮影会を二泊三日で行った。東京駅八重洲口からバスで、十二時三十分頃猫魔ホテル到着。この辺りは紅葉真っ盛りという感じで早速撮影開始。天候は快晴で、光に映える紅葉が見事である。弥六沼で記念撮影。次いで大沼沼、曲沼沼にて撮影。紅葉が静かな水面に映し出され見事な景観である。その後、桧原湖畔で夕景撮影後、初日の撮影は終了。

ペンションに戻り入浴、夕食は少しお酒も入り、明日の早朝撮影の英気を養う。

翌朝四時十分起床。松原湖畔に向かう。天候は予想より良く、一瞬の朝焼けに撮影に力が入る。続いて、湖畔の紅葉を撮影後朝食。少し休憩後、姫沼、大河ドラマ「風林火山」に出てくる達沢不動の滝にて撮影する。十四時過ぎまで撮影し、遅い昼食を済ませた頃から、少し雲行きが怪しくなり、小雨模様となる。



帰路、曲沢沼で小雨に濡れる紅葉を撮る。二日目の撮影終了。ペンションに戻り入浴、夕食後早目に就寝。

最終日も四時十分起床。松原湖畔に向かい、霧に煙る湖畔を撮影。この後、細野峠に向かう。雨の後で、晩秋の雰囲気漂う古道の落ち葉の絨毯と、木々の名残の黄葉の景観は素晴らしく、絶好の被写体である。撮影は九時頃終了した。

朝食を済ませ、休憩後ペンションを後にする。バスが出る猫魔ホテルで温泉に入り、軽く乾杯をし、十四時三十分無事帰路に着いた。

**フォトクラブびわこ
第二回撮影旅行 木曾駒ヶ岳**

平成十九年九月十八・十九日
参加者六名 岩井文雄、武藤幹男、溝口厚雄、福原良一、清水茂樹、石丸孝

フォトクラブびわこは、木曾駒ヶ岳付近での大自然をテーマに二日間の撮影旅行を実施しました。初日の撮影は、中央アルプスの主峰木曾駒ヶ岳の懐に広がる千畳敷カールと高山植物。

ホテルに到着し、まずは駒ヶ岳神社で全員安全祈願を行った後、本日の撮影ポイントである乗越浄土に向かう。千畳敷カールから、宝剣岳東側直下の八丁坂を経由して、急な山腹を登り、目的の場所にとどろく。三百六十度すばらしい山岳展望だ。約一時間の撮影後、別れを惜しみつつ下山する。

夕食後、夜空に輝く星の光跡撮影だ。まずは北斗七星を目安に北極星探し。なかなかそれが見つからなかったが、ようやく暗闇にも目が慣れてきて、長時間露出の「バルブ撮影」開始。

二日目は、四時三十分暗闇の中を撮影ポイントに向かって山を降りる。かすかな明かりで雲海が見えた。スバラシイ！まだ明けやらぬ東の空にカメラを向けて撮影開始。ようやく赤みがさしてきた。もうすぐ日の出だ。いつせいにシ

ヤッターを切る。雲海は徐々に赤く染まってゆく。

ようやく一段落。今度は朝日で赤く染まった反対側の千畳敷カール、宝剣岳の撮影を行う。次いでカール内の遊歩道を散策しながらお花畑の主役たちを撮影。紅葉には時期的に早く、ナナカマドの真紅、ダケカンバの黄金色は見られなかったが、次回に期待したい。

帰りは、ロープウェイからの下山に始まる。点在する滝のすばらしさにあらためて感動する。昔の台バスターミナルに到着後、すぐ近くの日帰り温泉施設「こまくさの湯」に入館。今回の撮影旅行の疲れを癒す。

昼食は地元でもっぱら評判のそば屋が近くにあると聞き、早速直行。今回の撮影旅行の締めくくりとして、テーブルを囲み、思い思いの感想をみんなで話し合い、これからのフォトクラブの発展を誓いあった。



**第八回
OB会作品展のご案内**

会期 平成二十年二月二十六日
(火) 三月二日(日)
時間 午前十時～午後六時
(初日は正午から、最終日は午後四時まで)
場所 神奈川県民ホール第一展示室
京浜東北線関内駅、石川町駅より徒歩十五分、みなとみらい線日本大通り駅から徒歩五分

OB会事務局から

▽会員の状況(十二月末日現在)
全会員数六三七名(本部三五八名
長浜一八四名 大阪三九名 名古屋二五名 九州三一名)

▽訃報

- 饗場 敏三殿 平成十九年六月十二日逝去
 - 藤井 芳郎殿 平成十九年七月四日逝去
 - 水嶋 晃殿 平成十九年七月二十六日逝去
 - 塙 宏殿 平成十九年九月五日逝去
 - 近藤 勇殿 平成十九年十月四日逝去
 - 八木 富央殿 平成十九年十一月十六日逝去
 - 菊間 真次殿 平成十九年十二月十一日逝去
 - 梅根 研一殿 平成十九年十二月十九日逝去
- 慎んでお悔やみ申し上げます。

発行者：三菱樹脂OB会事務局 〒110-0016 東京都台東区台東4-19-9 山口ビル7-2F
 株ダイヤサービス東京支店内 担当 矢作憲三 TEL 03-3834-9174 FAX 03-3834-8837

編集委員

- | | | |
|------|---------------------------------------|-----------------------------------|
| 加藤 進 | TEL/FAX : 03-3709-3610 | e-mail ssmkato@u01.gate01.com |
| 磯田 智 | TEL/FAX : 0749-65-2281 | e-mail satoshi.isoda@nifty.com |
| 原田浩次 | TEL/FAX : 045-621-3355 | e-mail kh3753@pb3.so-net.ne.jp |
| 宮下和久 | TEL : 03-3290-0619 FAX : 03-3290-0618 | e-mail kazuhisa14@jcom.home.ne.jp |
| 柘植 茂 | TEL/FAX : 03-5548-3455 | e-mail beetsuge@snow.ocn.ne.jp |